

(様式)

学校名	宮城県松山高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員 (予定)	40人
-----	-----------	----	-----	---------------	-----	--------------	-----

## 求める生徒像

本校は、「社会人としてしっかりと生きていける力をつける教育」を目指します。さらに、「それぞれが抱える課題を乗り越え、何事にも明るく前向きに努力する生徒」を目指す生徒像を掲げ、地域社会に貢献できる人材の育成に努めています。そこで、これらの実現のために次の1～5の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 本校への入学を強く希望し、入学後の目標が明確であり、学校生活に意欲的に取り組む生徒
- 2 生活態度がまじめで、挨拶、身だしなみ、清掃、身の回りの整理整頓など基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- 3 集団のマナーを守り、他者を尊重しながら、より良い学校生活を送る意欲の強い生徒
- 4 将来の進路に対して明確な目的意識を持ち、学習意欲が旺盛で努力を惜しまない生徒
- 5 中学校で授業や特別活動、部活動等に真面目に取り組んでおり、入学後も健全な学校生活を送れる生徒

## 第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース		なし	面接
<b>共通選抜</b>	28人（募集定員の70%）		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動の状況 (3) 将来の進路希望 (4) その他 4 観点 (1) 意欲 (2) 態度 (3) 表現力  ※面接については2日目に実施する。
学力検査:調査書	5 : 5		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
<b>特色選抜</b>	12人（募集定員の30%）		
I 配点 1 調査書(教科の評定) 195点 3年間の5教科(国語, 社会, 数学, 理科及び英語)の評定はそのまま合計し, それ以外の4教科(音楽, 美術, 保健体育及び技術・家庭)の評定は2.0倍にして合計する。 2 学力検査 500点 5教科(国語, 社会, 数学, 理科及び英語)の得点を各1.0倍とする。 3 面接 75点 合計770点  II 選抜方法 ・ 審査対象は, 学力検査点, 調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から, 特色選抜の募集人数の150%の範囲に含まれる者とする。 ・ 選抜は, 学力検査点, 調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に, 調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて, 求める生徒像に照らして総合的に審査し, 選抜する。			

## 第二次募集（選抜方法等）

	面接・実技・作文
I 配点 1 調査書(教科の評定) 225点 3年間の3教科(国語, 数学及び英語)の評定はそのまま合計し, それ以外の6教科(社会, 理科, 音楽, 美術, 保健体育及び技術・家庭)の評定は2.0倍にして合計する。 2 学力検査 300点(3教科) 3教科(国語, 数学及び英語)の得点を各1.0倍とする。 3 面接 45点 合計570点  II 選抜方法 上記Iの資料を基に, 調査書の記載内容を考慮しながら, 本校の求める生徒像に照らして総合的に審査し, 選抜する。	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ

(様式)

学校名	宮城県松山高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	家政科	募集定員 (予定)	40人
-----	-----------	----	-----	---------------	-----	--------------	-----

## 求める生徒像

本校は、「社会人としてしっかりと生きていける力をつける教育」を目指します。さらに、「それぞれが抱える課題を乗り越え、何事にも明るく前向きに努力する生徒」を目指す生徒像を掲げ、地域社会に貢献できる人材の育成に努めています。家政科では「被服」「保育」「調理」の3つのコースに分かれ、高度な専門性を有した教育を行っています。そこで、これらの実現のために、次の1～5の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 本校への入学を強く希望し、入学後の目標が明確であり、学校生活に意欲的に取り組む生徒
- 2 生活態度がまじめで、挨拶、身だしなみ、清掃、身の回りの整理整頓など基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- 3 集団のマナーを守り、他者を尊重しながら、より良い学校生活を送る意欲の強い生徒
- 4 将来の進路に対して明確な目的意識を持ち、学習意欲が旺盛で努力を惜しまない生徒
- 5 中学校で授業や特別活動、部活動等に真面目に取り組んでおり、入学後も健全な学校生活を送れる生徒

## 第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース		普通科	面接
<b>共通選抜</b>		24人（募集定員の60%）	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動の状況 (3) 将来の進路希望 (4) その他 4 観点 (1) 意欲 (2) 態度 (3) 表現力  ※面接については2日目に実施する。
学力検査：調査書		5 : 5	
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点：「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
<b>特色選抜</b>		16人（募集定員の40%）	
I 配点 1 調査書(教科の評定) 195点 3年間の5教科(国語、社会、数学、理科及び英語)の評定はそのまま合計し、それ以外の4教科(音楽、美術、保健体育及び技術・家庭)の評定は2.0倍にして合計する。 2 学力検査 500点 5教科(国語、社会、数学、理科及び英語)の得点を各1.0倍とする。 3 面接 75点 合計770点  II 選抜方法 ・ 審査対象は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜の募集人数の150%の範囲に含まれる者とする。 ・ 選抜は、学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

## 第二次募集（選抜方法等）

	面接・実技・作文
I 配点 1 調査書(教科の評定) 225点 3年間の3教科(国語、数学及び英語)の評定はそのまま合計し、それ以外の6教科(社会、理科、音楽、美術、保健体育及び技術・家庭)の評定は2.0倍にして合計する。 2 学力検査 300点 3教科(国語、数学及び英語)の得点を各1.0倍とする。 3 面接 45点 合計570点  II 選抜方法 上記Iの資料を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、本校の求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ

# 求める生徒像・選抜方法の例・見方

<b>1</b>	学校名	宮城県けやき高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員	200人
----------	-----	------------	----	-----	---------------	-----	------	------

## 2 求める生徒像

本校は、多様な進路希望を持った生徒の自己実現を可能にする学校です。基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させて学力の伸長を図るとともに、特別活動等への積極的な参加を促すことによりバランスのとれた生徒の育成に努めています。

また、保護者、地域社会から支持され信頼される開かれた学校です。

豊かな人間性とたくましさを持ち、自主的・自律的・意欲的に生き生きと活動する、次の1～5のいずれかに当てはまる生徒を求めます。

- 1 本校で学ぼうとする理由が明確で、自主・自律の精神で、学校生活に意欲的に臨む生徒
- 2 基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
- 3 進路実現に向かって継続的に努力し、積極的にインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒
- 4 何事にも真剣に取り組む、日々の授業を大事にする生徒
- 5 部活動、校外でのスポーツ活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒

特に、特色選抜においては、上記4及び5のいずれかに当てはまる生徒を重視します。

## 第一次募集（選抜方法等）

選抜順序 <b>3</b>	共通選抜	➔	特色選抜	<b>9</b>	面接・実技・作文のうち 実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース	<b>4</b>		商業科		面接
<b>共通選抜</b>	<b>5</b>		140人（募集定員の70%）		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路志望 (4) その他 4 観点 (1) 態度 50点 (2) 表現力等 150点
学力検査:調査書	<b>6</b>		5 : 5		
<small>学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」</small>					
<b>特色選抜</b>	<b>7</b>		60人（募集定員の30%）	<b>8</b>	
<b>I 配点</b> 1 調査書 390点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 …… 全学年の評定を2.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 …… 全学年の評定を4.0倍にする 2 学力検査 375点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 …… 得点を0.75倍にする 3 面接 200点 合計 965点 <b>II 選抜方法</b> ・ 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する60人の120%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。					
<small>※面接については、2日目に実施する。</small>					

## 第二次募集（選抜方法等）

<b>I 配点</b>	<b>10</b>	<b>11</b>
1 調査書 225点 ・ 国語, 数学, 英語 …… 全学年の評定を1.0倍にする ・ 社会, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 …… 全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 200点 合計 725点 <b>II 選抜方法</b> 上記 I を基に、総合的に審査し、選抜する。		<b>面接・実技・作文</b> <b>I 面接</b> 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ

## ① 「学校名」, 「課程」, 「学科 (コース・部)」, 「募集定員」

高校の基本情報を記載しています。

## ② 「求める生徒像」

高校が、どのような教育を行い、どのような生徒を求めているのかを記載しています。

## ③ 「選抜順序」

第一次募集の選抜を行う際、共通選抜と特色選抜のどちらの選抜方法を先に行うのかを記載しています。iii ページの例では、共通選抜の選抜方法で合否判定を行った後に、特色選抜の選抜方法で合否判定を行う、ということを示しています。

## ④ 「第2志望とすることができる学科・コース」

出願時に他の学科・コース・部を第2志望として認めている場合、第2志望とすることができる学科・コース・部を記載しています。

なお、第2志望を設定していない場合、「なし」と記載または斜線が引いてあります。

## ⑤ 共通選抜の「選抜人数と割合」

共通選抜の選抜人数と括弧内にその割合を記載しています。

なお、併設型中高一貫校である仙台二華高校と古川黎明高校では、併設中学校からの入学予定者105名を除いた人数で設定しています。

## ⑥ 「学力検査：調査書」

共通選抜における、学力検査点と調査書点の重視の仕方について、次の5つの組合せの中から設定しています。

	学力検査重視		同等	調査書重視	
学力検査：調査書	7：3	6：4	5：5	4：6	3：7

## ⑦ 特色選抜の「選抜人数と割合」

特色選抜の選抜人数と括弧内にその割合を記載しています。

なお、併設型中高一貫校である仙台二華高校と古川黎明高校では、併設中学校からの入学予定者105名を除いた人数で設定しています。

## ⑧ 特色選抜の配点等

配点と選抜方法、そして定時制課程においては社会人特別選抜の実施の有無について記載しています。

## I 配点

1 調査書：調査書点の満点と各教科の学年ごとの評定を何倍するのか、という倍率が記載されています。

2 学力検査：学力検査点の満点と、各教科を何倍するのか、という倍率が記載されています。

3 面接・実技・作文：面接、実技、作文を実施する場合、実施する検査とその配点を記載しています。

## II 選抜方法

特色選抜での審査対象者となる範囲と選抜方法について記載しています。

## III 社会人特別選抜(定時制課程のみ)

定時制課程において、社会人特別選抜の実施の有無について記載しています。

有・・・実施する

無・・・実施しない

## ⑨ 「面接・実技・作文のうち実施するもの」

第一次募集の選抜において、面接・実技・作文を実施する場合、どの検査を実施するのかを記載しています。実施しない場合には「なし」と記載しています。

また、下段には、実施する検査の「形態」、「時間」、「内容」、「観点」及び何日目に実施するかについて記載しています。

## ⑩ 第二次募集の配点等

配点と選抜方法について記載しています。

### I 配点

1 調査書：調査書点の満点と各教科の学年ごとの評定を実際に何倍するのか、という倍率が記載されています。

2 学力検査：学力検査を実施する場合、合計点及び実施する教科とその満点について記載しています。

3 面接・実技・作文：面接、実技、作文を実施する場合、実施する検査とその配点を記載しています。

### ⑪ 「面接・実技・作文について」

第二次募集の選抜において、面接・実技・作文を実施する場合、実施する検査の「形態」、「時間」、「内容」、「観点」について記載しています。